

# ■ST-K06改9 IH対応ステンレス製笛吹ケトル ～ 共通取扱説明書 ～

更新日:19.04.03

## △ お手入れ方法

### ■ご使用前に

- 製造上、内面は細かい汚れが付着している場合があります。最初に使用する時は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、すすいでください。又、1～2回お湯を沸かしてから使用してください。
- 本体にシール等が貼ってある場合には、はがしてから使用してください。

### ■ご使用后は

- ご使用後は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、水気を拭き取り乾燥させてください。お手入れが不十分ですと白い汚れが付着してきますが、水道水中の微量成分が残ったものです。人体に入っても問題ありません。
- たわし又は磨き粉で洗いますと傷が付く場合があります。
- 塩分や酸等を含んだ汚れを付着したまま放置したり、湿気の多い場所での保管は腐食発生の原因となります。
- 鉄やアルミ等の異種金属に製品を接触したまま放置しないでください。腐食発生の原因となります。
- 腐食の発生した時はスポンジにクレンザーを付けてこすり落とし、十分にすすいでください。
- 初めてのご使用時や固いものでこすった場合、ステンレスがけずれ微量の粉状のものが内面に付着する場合があります。付着した場合は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗い、すすいでください。
- 内面が紅色に変色する事がありますが、ご使用上問題はありません。変色が気になる場合は、水に10%程度の食酢を入れて沸騰させてください。内面に付着している細かい汚れを取り除く事に効果的です。

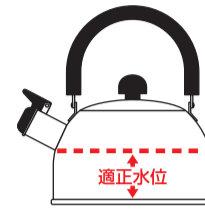
加熱により、ステンレスの表面が変色する事があります。これは表面にできた酸化皮膜が加熱により熱変色した着色現象であり、有害なものではありません。

### 取っ手・つまみが《木製》の製品の場合

- ご使用状況により、ヒビや割れが生じる場合があります。割れが広がってきた場合は危険ですので使用しないでください。
- お手入れの際、取っ手、つまみになるべく水分が入らないように注意してください。

### 取っ手・つまみが《金属》の製品の場合

- ご使用中や直後は取っ手、つまみが大変熱くなっています。必ずミトン等を用いてヤケドに注意してください。



△ 適正水位以内で使用してください。

イラストは一般的なものであり、実際のケトルの形状とは異なります。

※適正水位は目安です。火力により吹きこぼれる場合がありますので、火力を小さくするか内容量を少なくして吹きこぼれないように使用してください。  
※水が少なすぎると笛が鳴りにくい場合があります。

商品のお問い合わせに  
対応させて頂くため、ここに  
ラベル又は品質表示を  
貼ってください。

※製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更する事があります。

ST-K06改9

## 100-200V熱源対応 ステンレス製笛吹ケトル

## 共通 取扱説明書

この度は、お買い求め頂きまして誠にありがとうございます。この商品は家庭で調理するために使うものです。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。お読みになった後は、必ず保管してください。

この取扱説明書は本体に付属のラベル又は、品質表示と一緒に必ず保管してください。

商品、取扱説明書の不明な点についてのお問い合わせ先

和平フレイズ株式会社

〒959-1292 新潟県燕市物流センター2丁目16番地

0256-66-8511 [アフターサービス係]

<https://www.wahei.co.jp>

受付時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日・祝日は除く)

Q&Aはこちら



※ご使用前に必ず各部に異常がないか事前に確認してください。  
※イラストは一般的なものであり、実際のケトルの形状とは異なります。

△ 注意 湯沸かし中は場所を離れないでください。火災の原因になります。

△ 注意 ご使用のコンロ・ヒーターの取扱説明書にそって正しく使用してください。

## △ 取扱上の注意

- 湯沸かし中や直後は本体、取っ手、つまみが熱くなっています。必ずミトン等を用いてヤケドに注意してください。ヤケドの危険がありますので、特にお子様の手に触れないように注意してください。

- 湯沸かし直後は笛部が熱くなっています。ヤケドの危険がありますので、笛部の開閉の際は十分注意してください。

- 炎が底面からはみ出さないように使用してください。取っ手、笛部が焦げて危険です。異臭も発生します。又、隣接するコンロの炎が取っ手にあたらないように向きを調整してください。

- 火にかける時は取っ手を立てて使用してください。倒して使用すると過熱してヤケドの危険があります。又、取っ手が破損して事故の原因になります。

- ケトルはコンロの中央部に乗せて安定させて使用してください。

- 取っ手やつまみがゆるんだ状態で使用しないでください。脱落してヤケドの危険があります。つまみがネジ止めの場合、ネジを締め直してから使用してください。
- 取っ手やつまみのガタツキや破損に対し、改造や応急処置等の手当てをして使用する事は危険ですのでやめてください。

- 緑まで水等を満たした状態で使用しないでください。
- 吹きこぼれ防止のため、適正水位以内で使用してください。

- 麦茶・薬草等の煮出しや、酒類で使用する場合は、成分によっては内面に色が付く場合があります。

- 空炊きをしないでください。

空炊きは火災や本体の変形、取っ手やつまみの破損やヤケドの原因になります。

- 空炊きをした場合に、水等をかけて急冷しないでください。変形の原因になります。

- 蓋を取ったままの状態で使用しないでください。取っ手の過熱によりヤケドや脱落の危険があります。

- ストーブの上では危険ですので使用しないでください。

- 蓋や笛部が確実に閉まっていなとお湯が沸いても笛が鳴らない場合があります。確実に閉まっている事を確認してから使用してください。
- 笛部に水が入ると笛が鳴らない場合があります。湯を沸かす前に笛部の水気をよく切ってから使用してください。
- 笛を鳴らすために、蓋と本体の閉まり具合はきつになっています。

- お湯を注ぐ時は笛部をゆっくり開けてください。

●湯沸かし直後に注ぐと熱湯が飛び散る場合があります。ヤケドの危険があります。20秒以上待ってから注いでください。

- お湯を注ぐ時、急な角度で注がないでください。本体と蓋の間からお湯があふれたり、蓋が外れてヤケドの危険があります。
- 注ぎ口部分からお湯が尻まわりする事があります。

- 高い所から落とす等、強い衝撃を与えないでください。破損や変形の原因になります。

- 効率良く加熱して頂くために、ケトルの底に付いた水滴、異物や汚れ等はきれいに拭き取ってください。

- 表面は空炊き以外でも高温にさらされると変色する場合があります。特に極少量の水を入れて沸騰させると、水が入っていない部分が高温になり変色の原因になります。水量と火力には十分注意してください。

- 笛が鳴りはじめたら、必ず火を止めてください。

■下記対応熱源で使用してください。



## △ IHクッキングヒーターでご使用の際の注意

※IHクッキングヒーターのご使用は、必ず中火以下で使用してください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損の原因になります。  
※IHクッキングヒーターのプレート表面にケトルの跡が付く場合があります。専用クリーナー等で取り除いてください。

- 空炊きをしないで、必ず中火以下で使用してください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損の原因になります。

- ケトルはヒーターの中央に置いてください。加熱中に「ブーン」といった音が生じる場合がありますが、IHクッキングヒーターとケトルの振動の波動が共鳴するために生じるもので、ケトルの異常ではありません。

- 変形やガタツキ等が生じた場合は使用しないでください。

※一般家庭用の200V熱源に使用できますが、食堂、レストラン等の業務用熱源で高出力タイプの場合は、変形の可能性がありますので、使用しないでください。

ガス火でも使用できます。

## 温度センサー付ガスコンロでの注意

コンロの中央部に乗せて温度センサーが確実に沈み込んだ事を確認してください。

× 印は「オーバープリント」にしてください。